

Actions アクションズ

若手医師活動報告

小樽市のHPVワクチンキャッチアップ 接種の啓発活動に参加して

小樽市立病院
おかだ はるき
岡田 晴貴

HPVワクチンの接種を逃した女性のためのキャッチアップ接種が2022年4月に始まりました。公費で負担されるのは2025年3月までとされており、期限までに3回接種を済ませるには、今年9月までに初回の接種を始めることが勧められています。

しかし、私の働く小樽市の調べでは、助成対象年齢のHPVワクチンの接種率が低いことがわかりました。そこで医師会でできることはないかという話になったそうです。

今回、小樽協会病院の黒田先生にお誘いいただき、啓発活動に参加させていただきました。

今回の活動の目的はあくまでも接種を押し付けるのではなく、接種について考えるきっかけにさせていただくことです。先の副反応の問題もあり、活動がうまくいくかは不安でした。

私は研修医ですので、HPVワクチンに関してはまだまだ勉強中の身です。

しかしキャッチアップ接種の期限も迫っておりますので、少しでも知ってもらいたいという思いで今回参加させていただきました。

市内の「龍宮神社」「住吉神社」のお祭りでは、市内の産婦人科医、小児科医、助産師、研修医が中心となり啓発ポスターを貼ったブースを用意させていただいたほか、ティッシュやうちわ、ピラを配布させていただきました。

初めはピラを配るだけだったのですが、なかなか受け取ってもらえず、苦労しました。そこでティッシュを添えてみたり、活動が夏だったのでオリジナルうちわを配布してみたりと試行錯誤すると徐々に受け取っていただけることが増えました。

また、小樽夏の風物詩の一つに潮祭りがあります。そのお祭りの中「ねりこみ」では小樽市立病院、小樽協会病院、野口病院の3梯団が啓発のうちわを持って踊りました。

今回の活動が、どれほど市民の皆さんの心に残ったかはわかりませんが、今後も自分にできることがあれば参加させていただきたいと思います。

